

荒川下タイムライン(拡大試行版)について

1. 荒川下流タイムライン
2. 拡大試行版への改定のポイント
3. 拡大試行版の検討対象地域と検討体制
4. 拡大試行版の運用について
5. 拡大試行版の概要

平成29年5月19日

第3回 荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会

荒川下流タイムライン

- 荒川下流河川事務所は、平成26年に「荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)検討会」を、平成28年に「荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)専門部会」設置し、自治体、鉄道事業者、ライフライン事業者等とともに、タイムラインの策定・改定に向けた検討を実施。
- 平成27年5月にタイムライン試行案を、平成28年3月にタイムライン試行版を作成し運用開始。
- 平成28年度は検討対象を16市区に拡大しブロック毎のタイムライン試行版の検討開始。平成29年度の出水期はタイムライン拡大試行版を運用。

1. 想定ハザード

・平成19年9月台風第9号の降雨を想定最大規模に引き伸ばした降雨によるはん濫を想定。風速も台風9号(平成19年9月)実績を想定。

2. タイムライン策定の目標

- <災害時の役割> ・災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
・災害時の判断をサポート
- <平常時の役割> ・現状が明確になり、課題を抽出
・地域をつなぐコミュニケーションツール

3. これまでの検討状況

【平成27年度まで】

- ・3つのWG(住民、避難行動要配慮者、交通)を立ち上げ、具体的な検討を実施
- ・タイムライン試行版に基づき、図上訓練や実践で検証
- ・検証結果を踏まえ、タイムライン試行版を見直し

【平成28年度まで】

- ・専門部会、専門部会ブロック検討会の開催
- ・16市区を4つのブロックに分割し、ブロック毎のタイムライン検討
- ・平成28年3月公表の試行版の運用と運用等を踏まえた見直し

5. 平成29年度以降のスケジュール(予定)

- ・タイムライン拡大試行版の運用
- ・タイムライン拡大試行版の運用結果等を踏まえたふり返し・見直し

検討会等の開催状況

平成26年 7月22日 「検討準備会」

平成26年 8月21日 「検討会設置会」「検討会(第1回)」

平成26年12月 3日 「ワーキンググループ(第1回)」

平成26年12月18日 「検討会(第2回)」

・検討ハザード、テーマ別WGメンバー、検討地域、検討内容の決定

<テーマ別WGの検討内容と検討地域>

- ・「住民避難に着目したタイムライン検討WG【足立区:千住】」
- ・「避難行動要配慮者に着目したタイムラインWG【板橋区:高島平】」
- ・「交通の運行状況に着目したタイムライン検討WG【北区:赤羽周辺】」

テーマ別ワーキンググループ(計4回)、ワーキンググループ(計1回)の実施

平成27年5月25日 「検討会(第3回)」

荒川下流タイムライン(試行案)の公表・運用開始

平成28年 2月 8日 「テーマ別ワーキンググループ(第5回)」

平成28年3月22日 「検討会(第4回)」

荒川下流タイムライン(試行版)の公表・運用開始

平成28年 9月 6日 「専門部会(第1回)」

専門部会ブロック検討会(各ブロック計2回)、
専門部会ブロック検討会(全体会議)(計1回)の実施

平成29年 5月 9日 「専門部会(第2回)」

平成29年5月

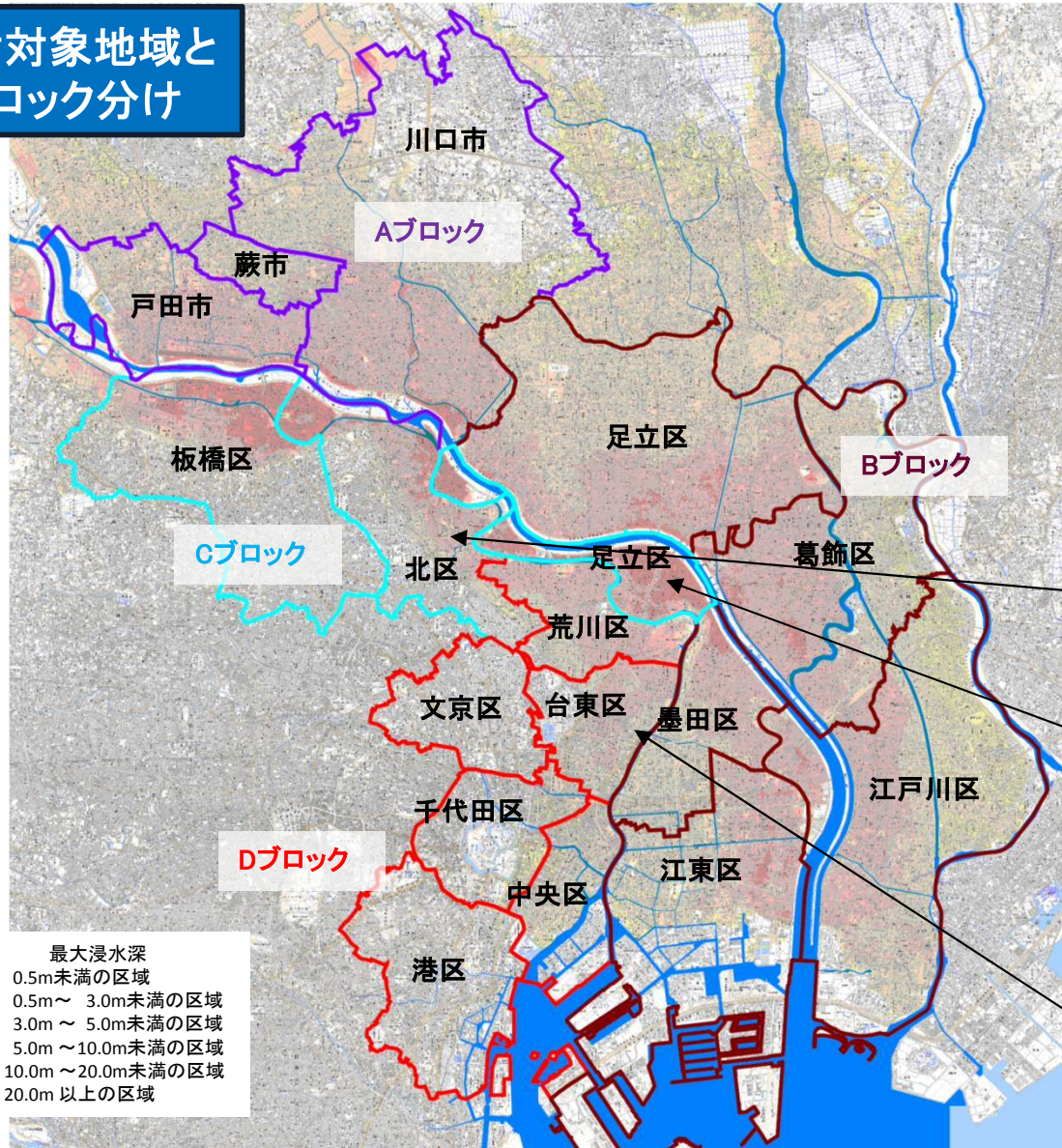
荒川下流タイムライン(拡大試行版)の公表・運用開始

拡大試行版の検討対象地域と検討体制

○特性が類似する4つのブロックごとにタイムライン検討

荒川下流部の関係16市区全てを対象としたタイムライン拡大試行版の策定にあたっては、地域特性や氾濫特性が類似する4つのブロックに分けて検討を実施

検討対象地域とブロック分け



検討体制

- A** : 川口市、蕨市、戸田市
- B** : 墨田区、江東区、足立区(荒川左岸)、葛飾区、江戸川区、
- C** : 北区、板橋区、足立区(荒川右岸)
- D** : 千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、荒川区

王子駅



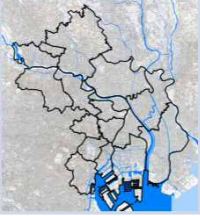

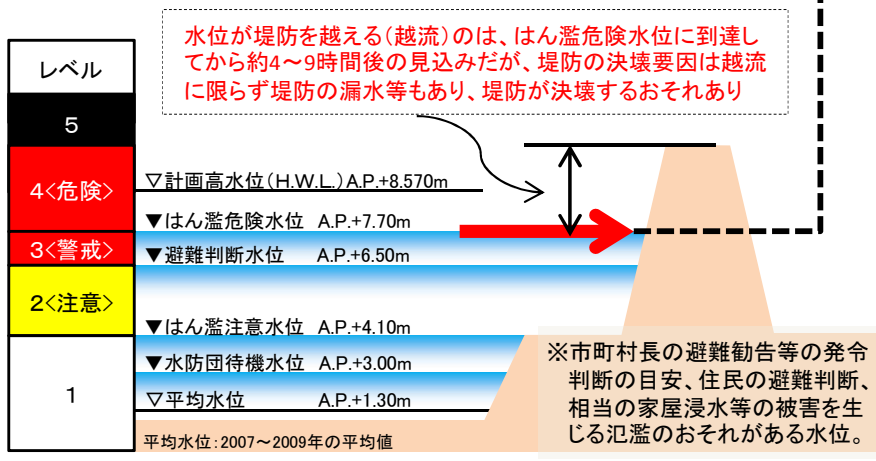
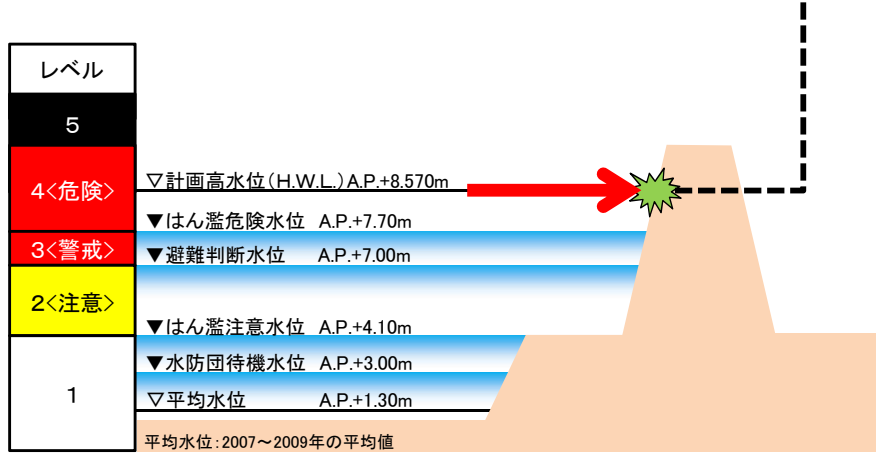
北千住駅



浅草駅



拡大試行版への改定のポイント

	項目	拡大試行版 (H29.5)	試行版 (H28.3)
1	対象地域	荒川下流部の洪水浸水想定区域にある全ての市区 16市区(千代田区、中央区、港区、文京区、 台東区、墨田区、江東区、北区、荒川区、 板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区、 川口市、蕨市、戸田市) 	モデルエリアとして荒川下流部の右岸3区 (北区、板橋区、足立区) 
2	想定ハザード	水防法改正(平成27年5月)を踏まえ、平成19年9月台風第9号の降雨を想定最大規模に引き伸ばした降雨	カスリーン台風の雨量を確率規模1/200に引き伸ばした降雨
3	OH(ゼロアワー)	<p>「はん濫危険水位※(岩淵水門(上))」に到達する時間</p>  <p>水位が堤防を越える(越流)のは、はん濫危険水位に到達してから約4~9時間後の見込みだが、堤防の決壊要因は越流に限らず堤防の漏水等もあり、堤防が決壊するおそれあり</p> <p>※市町村長の避難勧告等の発令判断の目安、住民の避難判断、相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫のおそれがある水位。</p>	<p>「計画高水位(岩淵水門(上))」に到達し、堤防が決壊する時間</p> 
4	時刻表記	レベル表示(「レベル2」など)に変更 なお、タイムライン時刻(「-72H」など)は目安として参考通知	タイムライン時刻(「-72H」など)
5	関連施策との連携	江東5区大規模水害対策協議会より平成28年8月に示された「江東5区大規模水害避難等対応方針」を考慮	

拡大試行版の運用について

荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用について

- ・ 荒川下流タイムライン(拡大試行版)の運用は、以下の①から③とする。
 - ①日本への接近が見込まれる台風に対するタイムラインの適用とその伝達
 - ②タイムライン上のレベル(及び目安の時刻)の設定とその伝達
 - ③各参画機関による防災行動項目を実施するか否かの判断とその共有

①. タイムラインの適用について

- ・ 日本への接近が見込まれる台風を確認後、東京管区气象台と荒川下流河川事務所が協議し、荒川下流タイムライン(拡大試行版)を適用するか否かを決定し、適用の有無、適用開始時のタイムライン上のレベル(及び目安の時刻)等を参画機関にメールにて伝達する。

②. タイムライン上のレベル(及び目安の時刻)の設定について

- ・ 台風の位置、降雨の状況、水位の状況等から、東京管区气象台と荒川下流河川事務所が協議し、荒川下流タイムライン(拡大試行版)に照らしてどのレベルにあたるかを検討し、タイムライン上のレベル(及び目安の時刻)を設定し、参画機関にメールにて伝達する。

③. 防災行動項目を実施するか否かの判断について

- ・ 各防災行動項目を実施するか否かの判断は、その都度、台風、降雨、河川の状況等を踏まえ、各参画機関が責任を持って判断する。
- ・ 各参画機関は、防災行動項目の実施状況(取り組んだこと、見送ったこと)を共有する。
→各参加機関の運用結果等を踏まえ、後日、ふり返り、見直しを行うこと等により、荒川下流タイムライン(拡大試行版)の見直し、充実・改善や更なる拡大・深化を図ることとしている

参画機関に提供される情報について

- ・ 東京管区气象台の防災行動項目の一つである「接近する台風の予報及び荒川下流域への影響等の情報提供」や荒川下流河川事務所の防災行動項目の一つである「水位予測・河川管理施設の稼働状況等の情報伝達」は、参画機関に共有される情報である。
- ・ 参画機関は、共有される情報の性格を理解し、防災行動項目を実施するか否かについての自らの判断に役立てるとともに、自らの防災行動項目の実施状況を参画機関の間で共有する。

拡大試行版の概要 Aブロック【川口市】

	気象情報等	荒川下流 河川事務所	川口市	東京都・東京消 防庁・警視庁	交通事業者 ライフライン事業者
レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報（HP等） ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○台風情報および気象情報の収集・確認	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報（埼玉、東京） ○強風注意報（埼玉） ○強風・波浪注意報（東京）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供	○台風情報・気象情報・流域全体の水文観測所情報の収集・確認	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制（風速が規定値を超えた場合）
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位（岩淵水門（上）） ○大雨・洪水警報（埼玉、東京） ○暴風警報（埼玉） ○暴風・波浪警報（東京） ○記録的短時間大雨情報（埼玉）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○公共交通機関の運行状況等の確認 ○自主防災組織の活用 ○避難準備・高齢者等避難開始の発表・伝達 <small>※熊谷、治水橋、岩淵のいずれかのはん濫注意情報に基づく</small>	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報（岩淵水門（上）） ○記録的短時間大雨情報（東京） ○大雨特別警報（埼玉、東京）	○TL上のレベル設定 ○交通規制情報の収集 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達	○交通規制情報の収集 ○避難勧告の発表・伝達 <small>※熊谷、治水橋、岩淵のいずれかのはん濫警戒情報に基づく</small> ○避難指示（緊急）の発表・伝達 <small>※熊谷、治水橋、岩淵のいずれかのはん濫危険情報に基づく</small>	○交通規制情報の収集	○交通規制情報の収集 ○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報（岩淵水門（上））	○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○ホットラインによる状況判断の実施	○避難状況の把握 ○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間)	○はん濫危険情報（岩淵水門（上））	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○浸水危険地域内の住民等へ垂直避難のアナウンス	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

【凡例】
 ■黒字：これまで取り組んできた防災行動項目
 ■青字：引き続き検討が必要な防災行動項目

拡大試行版の概要 Bブロック【江戸川区】

	気象情報等	荒川下流 河川事務所	江戸川区	東京都・東京消 防庁・警視庁	交通事業者 ライフライン事業者
レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報 (HP等) ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○資機材の確認・準備 ○江東5区共同で広域避難の検討を開始 ○自主広域避難の呼掛け	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報 (埼玉、東京) ○強風注意報 (埼玉) ○強風・波浪注意報 (東京)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供	○広域避難先の調整 ○休校・休園措置の検討	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制 (風速が規定値を超えた場合)
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位 (岩淵水門(上)) ○大雨・洪水警報 (埼玉、東京) ○暴風警報 (埼玉) ○暴風・波浪警報 (東京) ○記録的短時間大雨情報 (埼玉)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○江東5区共同で広域避難勧告の発表 ○公共交通機関の運行状況等の確認 ○休校・休園措置の決定・伝達	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報 (岩淵水門(上)) ○記録的短時間大雨情報 (東京) ○大雨特別警報 (埼玉、東京)	○TL上のレベル設定 ○交通規制情報の収集 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達	○交通規制情報の収集 ○避難準備・高齢者等避難開始の発表 ○江東5区共同で早期垂直避難勧告の発表	○交通規制情報の収集	○交通規制情報の収集 ○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報 (岩淵水門(上))	○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難勧告の発表 ○江東5区共同で垂直避難勧告の発表	○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間)	○はん濫危険情報 (岩淵水門(上))	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難指示 (緊急) の発表 ○江東5区共同で緊急避難指示 (広域避難) の発表	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○はん濫情報提供 ○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

【凡例】
 ■黒字: これまでも取り組んできた防災行動項目
 ■青字: 引き続き検討が必要な防災行動項目

拡大試行版の概要 Cブロック【板橋区】

	気象情報等	荒川下流 河川事務所	板橋区	東京都・東京消 防庁・警視庁	交通事業者 ライフライン事業者
レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報（HP等） ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○災害対策用資機材、復旧用資機材の準備 ○福祉施設等の避難支援関係者との事前調整 ○都立特別支援学校の休校の検討	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報（埼玉、東京） ○強風注意報（埼玉） ○強風・波浪注意報（東京）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供	○区立小中学校、福祉施設の休校・休園の検討 ○災害即応本部立ち上げ検討 ○福祉施設等の避難支援の準備	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制（風速が規定値を超えた場合）
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位（岩淵水門（上）） ○大雨・洪水警報（埼玉、東京） ○暴風警報（埼玉） ○暴風・波浪警報（東京） ○記録的短時間大雨情報（埼玉）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○公共交通機関の運行状況等の確認 ○学校、福祉施設の休校措置の決定・伝達 ○福祉施設等の避難支援の実施 ○家屋倒壊危険ゾーンへの注意喚起	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報（岩淵水門（上）） ○記録的短時間大雨情報（東京） ○大雨特別警報（埼玉、東京）	○TL上のレベル設定 ○交通規制情報の収集 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達	○交通規制情報の収集 ○避難所の開設・自主避難者の受け入れ ○避難準備・高齢者等避難開始の発表・伝達 ○治水橋で避難判断水位を越えたことを踏まえた区外への避難勧告の発表・伝達	○交通規制情報の収集 ○避難状況の把握	○交通規制情報の収集 ○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報（岩淵水門（上））	○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○家屋倒壊危険ゾーンに対する避難指示（緊急）（退避）の発表・伝達	○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間)	○はん濫危険情報（岩淵水門（上））	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難指示（緊急）の発表・伝達 ○浸水危険地域内の住民等へ垂直避難の伝達	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

【凡例】
 ■黒字：これまでも取り組んできた防災行動項目
 ■青字：引き続き検討が必要な防災行動項目

拡大試行版の概要 Dブロック【荒川区】

	気象情報等	荒川下流 河川事務所	荒川区	東京都・東京消 防庁・警視庁	交通事業者 ライフライン事業者
レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報（HP等） ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○止水板、土のう等止水・防水資機材等の準備 ○区所管施設等への注意喚起	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報（埼玉、東京） ○強風注意報（埼玉） ○強風・波浪注意報（東京）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供	○広域避難先への連絡 ○要配慮者施設へ浸水に対する準備を要請 ○区所管施設等への注意喚起	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制（風速が規定値を超えた場合）
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位（岩淵水門（上）） ○大雨・洪水警報（埼玉、東京） ○暴風警報（埼玉） ○暴風・波浪警報（東京） ○記録的短時間大雨情報（埼玉）	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○自主避難（高台）の検討呼びかけ ○区所管施設等への注意喚起 ○小中学校・幼稚園の休校・休園の検討 ○公共交通機関の運行状況等の確認 ○災害対策会議の開催	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報（岩淵水門（上）） ○記録的短時間大雨情報（東京） ○大雨特別警報（埼玉、東京）	○TL上のレベル設定 ○交通規制情報の収集 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達	○避難準備・高齢者等避難開始の発表・伝達 ○避難施設の開設・運営 ○区所管施設等へ避難を呼びかけ	○交通規制情報の収集	○交通規制情報の収集 ○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報（岩淵水門（上））	○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難勧告の発表・伝達 ○区所管施設等へ避難を呼びかけ	○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間)	○はん濫危険情報（岩淵水門（上））	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難指示（緊急）の発表・伝達 ○避難方法の切替を周知	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報（HP等） ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

【凡例】
 ■黒字：これまでも取り組んできた防災行動項目
 ■青字：引き続き検討が必要な防災行動項目